



菊のように咲き誇る

副校長 池長 健吉

12月

街路樹も葉を落とし、冬の訪れを感じる今日この頃です。また、2021年も、最後の月を迎えます。まだ、予断を許さない状況ではありますが新型コロナウイルスの感染者数も落ち着きが見られ、明るい希望が見えてきたように感じます。

そのような中、金沢小学校でも11月6日、無事にスポーツフェスタを開催することができました。当日は、天候にも恵まれ、子どもたちの精一杯がんばる姿が随所で見られました。自分の演技や役割をやり遂げて達成感を感じている姿。得点が発表される度に一喜一憂する姿。同じ学年やクラス、時には、異学年の友達に優しく声をかける姿。みんなで力を合わせて取り組み、やり遂げるよさを改めて実感できた1日となりました。今年度は、保護者の方の参観も制限をかける形となってしまいましたが、来年度は、さらに多くの方に、金沢小学校の子どもたちの頑張りをご覧いただけるよう、検討していきたいと考えています。

さて、そのスポーツフェスタの中、会場に飾られていた美しい菊の鉢植えをご覧いただけただでしょうか。黄、白、ピンク、様々な色。大中小、様々な大きさ。厚みのある花卉が集まって大輪となっているもの。管状の花卉が中心から伸びて彼岸花のように咲いているもの。小さな花がたくさん咲いて山のようにになっているもの等々、様々な菊がどれも美しく凛として咲き誇っています。多種多様な菊でありながら、一つひとつが凛として咲き、それでいて集まれば全体として一層の美しさを感じさせてくれています。金沢小学校の子どもたちも、一人一人が頑張り、自分らしさを発揮することで、それが集まる学級や学校全体でより大きな力を発揮し、さらなる高みへと成長しています。これからも、子ども一人一人が自分らしさを発揮して頑張り、集団としてさらに高め輝いていけるよう職員一同支えて参りたいと思います。



ちなみに、この菊を栽培して下さったのは、菊の先生こと林文夫さんです。子どもたちや来校する皆さんがきれいな菊が見られるようにと、4月の土の準備や挿し木から、何度も学校に来校いただき世話をしてくださいました。また、本校用務員の山田さんも林先生と一緒にお世話をしてくださいました。菊の林先生ありがとうございました。